



☆ あ・い・う・え・お・ん・促音(っ)が、その直前の文字と共に一つの音符に対応する  
場合。

ちい さないけのな か に ほっ かりしろいく も

☆ 長音符で書く「う」は、そのまま原文通り「う」を書く。

ゆ め の よう な ゆう べ

☆ 外来語の長音符はそのまま長音符をつかう。

さあ た の し い ポー レ チ ケ

(2) 1音符・2音節以上

☆ 言葉のカッコの開き(5・6の点)と閉じ(2・3の点)で囲む。

おめで どう たん じょう び おめで どう たん じょう び

Braille representation of the lyrics above, with opening and closing parentheses around each syllable.

(3) 2音符以上・1音節

☆ 伸ばす文字に長音符(2・5の点)をつける。

おわれ て みたのー はー いつのー ひー か

Braille representation of the lyrics above, with a long note symbol (dots 2 and 5) under the syllables 'のー' and 'ひー'.

☆ タイで結ばれている音符は、1音と見なす(a)。

ただし(b)の場合は、旋律と歌詞の小節がずれることになるので、必ず長音符をいれる。

ある ひ パパと ふたりでー かたり あったさー

Braille representation of the lyrics above, comparing the two cases (a) and (b) for the tied notes.





☆ タイで結ばれている音符は、1音と見なす。

ただし次の場合は、旋律と歌詞の小節がずれることになるので、必ず長音符を入れる。

Höl - - - le

## 2. スラーの特殊用法

歌詞と音符の対応がわかりにくい場合

☆ 音符が3つ以下の時 点訳者のスラー(4・5・6の点と1・4の点)

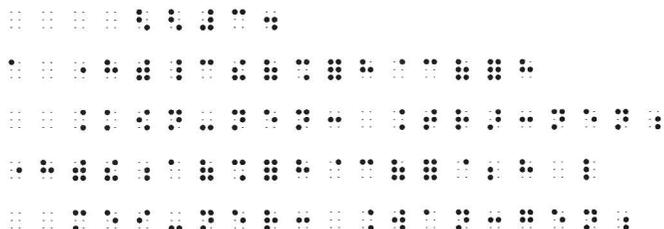
☆ 音符が4つ以上の時 開き(5・6の点と1の点)、閉じ(4の点と2・3の点)で囲む。

は るのよい さく らが さ ——— く — と

は なばかり さく - ら よこ ちよ — う



Kön - nen Trä - nen mei - ner Wan - gen



### 3. 繰り返し法

#### (1) 声楽のパート

☆ 声楽のパートにおいて繰り返しの使用はあまり望ましくない。

#### (2) ピアノ伴奏等

☆ 小節番号による繰り返し法

原則として両手とも繰り返す部分と同じ場合に限る。しかしパラレルの区切り方が前と同じであり、またそれが長ければ(8小節以上)片手の中でも使用できる。

## 4. 矢印方式

声楽の旋律パートで、発想用語によって楽譜が中断されたり、1行に1小節が入らない場合

☆ 楽語をレ下がりカッコに入れて、対応する音符・休符に矢印(1・2・3の点または4・5・6の点、あるいは5・6の点と1・2・3の点)を付け、1行下ろす。

☆ 用語が2行に渡る時は、言葉の頭を揃える。ただし歌詞と間違いやすい時は、言葉の頭から更に2マス下げる。

di - te un po - co un po - co o che mai

Braille representation of the musical score above, showing the lyrics and musical notation in Braille format.

☆ 用語がカッコ付きの時

Braille representation of the phrase "用語がカッコ付きの時" with a tilde symbol.

## 5. レイアウト

(1) 原本ページ —— 第1行1マス目

1ページの中に2つの原本ページが入る場合

〔例〕 原本ページ1・2 ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮

1ページの中に3ページ以上が入る場合

〔例〕 原本ページ3・4・5 ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮

(2) 点訳ページ —— 第1行28マス目

(3) タイトル

第2行にセンタリング、またはタイトル書式に準ずる。

(4) 作詞者・作曲者・編曲者等

- ・タイトルの次の行に行末(16マス目以降)に寄せて入れる。
- ・各項目の頭を揃え、一つの項目が複数行に渡る時、次行は2マス下げる。

(5) 曲の始めの発想用語

1行あけて、5マス目より発想用語、速度記号、調子・拍子記号をそれぞれの間2マスあけて入れる。(複数行に渡る時、次行は7マス目より)

(6) 声楽の旋律

- ・1行に入る小節だけを書く。(小節の途中で切らないように)
- ・1行に1小節も入らない場合は、続きを次行の1マス目から書く。

(7) 歌詞

- ・3マス目より旋律に対応する歌詞を入れる。
- ・複数行になっても書き出しは3マス目に揃える。
- ・2番以降は次行3マス目よりその番号をレ下がりカッコに入れ、1マスあけて歌詞を書く。番号はパラレルが変わる毎に記す。
- ・歌詞が同じ時の歌詞番号

1番と2番が同じ歌詞 ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮

1～3番が同じ歌詞 ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮

- ・小節の途中で歌詞番号が変わる時

⋮ ⋮ ⋮ ⋮ □ ～ □ ⋮ ⋮ ⋮ □ ～ ⋮  
| |  
(1番の歌詞) (2番の歌詞)



## 付記

### [声楽譜] 段変更線

2007年7月28日

2012年3月24日改訂

1. 段変更線の要・不要は作業票の指示に従う。
2. 作業票に記載がない場合、次のような事を総合的に考慮し、必要に応じて入れる。
  - ・原本に練習番号、小節番号があるかどうか。  
(練習番号が有っても、その間隔によっては必要な場合も有る)
  - ・原本1ページの段数が多いかどうか。
  - ・原本1段の小節数が多いかどうか。  
(段数のみに囚われがちだが、小節数も考慮する必要が有る)
3. 段変更線はすべてのパートに入れる。
4. 段変更線を入れる場合は必ずページ変更線も入れる。

## [声楽譜] 詞の表記

2025年12月25日改訂

1. 曲の終わった後に歌詞を入れる場合、曲と歌詞の間に中央仕切り線を入れて、次の行から歌詞を書く。
2. 題名は7マスまたは5マス目より書き始める。
3. 題名と詞の間は行あけ無しで記す。
4. 詞は原則3マス目より書き始め、改行は5マス目とする。